

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成31年1月21日（月）

### 2 確認箇所

- ・陸側遮水壁6BLK（ブロック）-H1付近（2、3号機タービン建屋西側（山側））
- ・陸側遮水壁3BLK（ブロック）-H6付近（旧事務本館前）

### 3 確認項目

- （1）陸側遮水壁ライン（冷媒）供給管からの滴下事象の対応状況（6BLK-H1）
- （2）陸側遮水壁ライン（冷媒）供給管からの滴下事象の対応状況（3BLK-H6）

### 4 確認結果の概要

- （1）陸側遮水壁ライン（冷媒）供給管からの滴下事象の対応状況（6BLK-H1）

前回（平成30年12月18日）に引き続き、2、3号機タービン建屋西側（山側）に敷設されているライン供給管ジョイント部からの冷媒の滴下事象について、対応状況を確認した。

- ・前回、滴下した冷媒は、滴下発生箇所下部に取り付けられた漏斗及びチューブによりポリタンクに接続されていたが、本日は当該タンクが撤去されており、より安定性のあるプラスチック製タンクに導かれていた。

（写真1）

- ・また、当該事象は凍結により地盤が隆起したことで、ライン供給管の架台が押し上げられ、ライン供給管に応力がかかり、滴下が発生したものと推定されているが、対策として配管の架台の下部には鋼材が設置され、ジャッキで鋼材が押し上げられ、架台の高さが調整されていた。

（写真2）



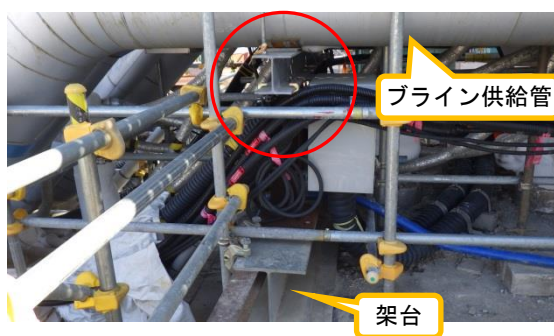
（写真1-1）

前回撮影（平成30年12月18日）



（写真1-2）

今回撮影（平成31年1月21日）



(写真 2 - 1)



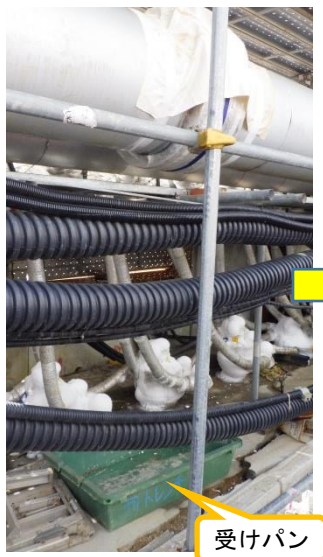
(写真 2 - 2)

写真 2 - 1 の赤丸を拡大

(2) 陸側遮水壁ブライン (冷媒) 供給管からの滴下事象の対応状況 (3 B L K-H 6)

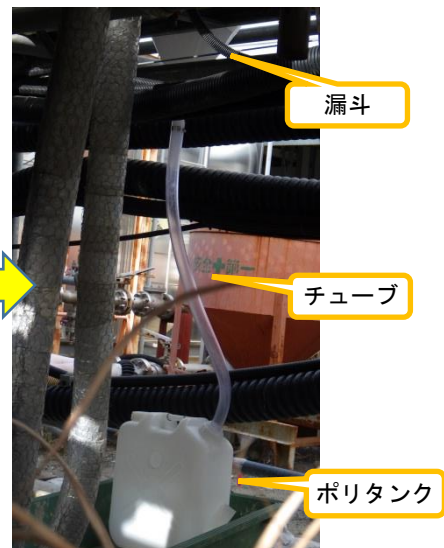
前回 (平成 30 年 12 月 18 日) に続き、旧事務本館前に敷設されているブライン供給管ジョイント部からの冷媒の滴下事象について、対応状況を確認した。

- ・ 前回、漏えい拡大防止対策として滴下発生箇所であるブライン供給管ジョイント部の下部に受けパンが設置されていたが、本日は追加の対策として、受けパン内にポリタンク (20L) が設置されており、滴下した冷媒は、配管下部に取り付けられた漏斗及びチューブにより、当該タンクに導かれるようになっていた。(写真 3)



(写真 3 - 1)

前回撮影 (平成30年12月18日)



(写真 3 - 2)

今回撮影 (平成31年1月21日)

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。